

「陸水物理研究会」設立の経緯と趣旨

本会は、1976年10月に開催された第41回日本陸水学会函館大会での集会討論を端緒として、今後の陸水学・水文学の物理的(physical)な分野の発展に対応した研究会の発足が必要との認識のもとに協議が重ねられ、1978年1月に設立された。最初の研究発表会は、1978年11月29日に立正大学地理学科自然地理研究室で開催され、本会の第1回全国大会は1979年12月1～2日、東京都立大学理学部 地理学教室で開催されている。本会が関連する分野は、雪氷・地形・地下水・温泉・地滑りなどにまたがり、沿岸の海水・汽水を含む陸水全体の循環・営力作用のプロセスを明らかにすることを目的としている。現在は、地球温暖化・乾燥化にともなう水循環の活発化・偏在化に対応したグローバルな研究がさかんである。それに応じるためにも、その理論的基礎となる物理的プロセスを解明するための研究は、今後ますます重要になると考えられる。ここに、本会が果たす役割の重要性がある。

(2014年12月6日)